

「平成18・19年度 我が国の伝統文化を尊重する教育に関する実践モデル事業」の報告

地域で輝く学校

教育基本法等が改正され、学校教育において、伝統や文化に関する教育の充実が求められています。本事業は、「学校教育において、児童生徒が我が国に伝わる伝統や文化に触れる機会を充実することにより、我が国の伝統や文化への関心や理解を深めるとともに、それらを大切にしようとする態度を育て、豊かに生きる力をはぐくむことに資する。」ことを目指し、国立教育政策研究所より委嘱を受けて実施するものです。平成18・19年度、実践モデル校に指定された坪沼小学校と根白石中学校の実践の概要を紹介します。

仙台市立坪沼小学校

校長 庄子 淑子
全校児童数 30名

<http://www.sendai-c.ed.jp/~tsubosyo/>

ふるさとに誇りを持ち、新しい時代を拓く心豊かな子どもの育成
～「坪沼祭りばやし」の継承活動を通して～

1 実践の概要

坪沼小学校は、仙台南西部の豊かな自然に囲まれた坪沼の地にあり、全校児童30名の小規模校である。昭和55年度より、地元地域に古くから伝わる伝統芸能「坪沼祭りばやし」の継承活動を教育活動に取り入れ、地域に根ざした教育の実践を行ってきた。

本事業に取り組むに当たり、特色ある教育活動の一環として教育課程に位置付け、教育活動全体の中で調和の取れた活動となるよう研究を進めている。年間指導計画の見直し等を行いながら、伝統文化に触れる機会を充実させ、ふるさとを愛する心情を育て、未来を切り拓く児童の育成を目指している。

2 具体的な取組

- ◆ 平成18年度
 - (1) 4学年～6学年の合同音楽において、篠笛や和太鼓を取り上げ、学芸会等で発表を行った。
 - (2) 毎週金曜日の朝の活動を、4年生以上の合同練習会（篠笛、和太鼓）とし、活動の充実を図った。
 - (3) 民族歌舞団（ほうねん座）の講師より、技術指導と講話をいただいた。
 - (4) 「坪沼祭りばやし保存会」と共に練習を行い、地域行事に数回参加した。
 - (5) 「仙台市教育課題発表会」で発表した。



【保存会との合同演奏披露の様子】

3 成果と今後の展望

- (1) 昨年度までは、4年生以上の児童が篠笛と和太鼓で“祭りばやし”を演奏してきた。今年度は、全校児童30名による“祭りばやし”を完成させることができ、祭りばやし保存会や地域から大好評であった。
- (2) 特色ある教育活動の一つとして、教育課程に取り入れ、計画的に実践するスタイルが確立した。今後も全校をあげて地域に伝わる伝統文化を継承していきたい。



【2・3年生の縮太鼓練習会の様子】

1 実践の概要

中央を冠川（七北田川）が流れ、泉ヶ岳ふもとの豊かな自然に恵まれた地区に根白石中学校がある。本校では、平成7・8年度に文部省の指定を受け伝統文化教育推進事業に取り組み、その成果を生かした実践を継続してきた。本事業では、これまでの実践から伝統文化教育の指導内容や方法を振り返り、改善を図ることで、「伝統文化を尊重する教育」の充実に向けた実践研究に取り組んでいる。

校区内の各小学校で取り組んだ「鹿踊・剣舞」、「アセ踊り」、「大正踊り」という伝統芸能の継承活動を基に、選択教科（音楽）や総合的な学習の時間における学習を通して、地域の歴史や文化を主体的に学び、伝統文化を尊重する生徒の育成を目指している。

2 具体的な取組

- ◆ 平成18年度
 - (1) 2年生を対象とした選択教科（音楽）では、福岡地区の「鹿踊・剣舞保存会」の方を招き、篠笛の演奏に取り組んだ。
 - (2) 学年の枠を外した総合的な学習の時間に「伝承活動」を設け、保存会の方の指導を受けながら、踊り、謡（うたい）、篠笛の演奏のすべてを生徒が行った。
 - (3) 文化祭や「冠のふるさと伝承まつり」（学区内の三つの小学校と共に行う伝承活動発表の場）において発表した。



【「冠のふるさと伝承まつり」での発表】 【東北大学の留学生との交流】

3 成果と今後の展望

- (1) 踊りだけでなく、篠笛の演奏や謡も生徒自らの手により継承活動を行える体制が整ってきた。
- (2) 篠笛の演奏や「鹿踊」など、地域の枠を越えて取り組み、伝統文化のよさを広げることができた。
- (3) 「伝承活動」に取り組んできた生徒の中から、保存会の方と一般公演に参加するなど後継者が育ってきた。
- (4) 東北大学の留学生との交流など、より広い視野から継承活動を発展させていきたい。

仙台市立根白石中学校

校長 庄司 光江
全校生徒数 153名

<http://www.sendai-c.ed.jp/~neshiro-jh/>

地域の伝統文化を尊重する教育の実践
～地域との連携を通して～

◆ 平成19年度

- (1) 選択教科（音楽）では、福岡、根白石、実沢という地域の枠を越え、保存会の方より指導を受けて篠笛の演奏に取り組んだ。
- (2) 総合的な学習の時間では、保存会の方より引き続き指導を受け、福岡地区の伝統芸能「鹿踊・剣舞」の継承活動に取り組んだ。踊りには、他の地区出身者も加わり、謡、篠笛の演奏のすべてを生徒が行った。
- (3) 文化祭、「冠のふるさと伝承まつり」、「仙台市中学校音楽発表会」において発表した。「冠のふるさと伝承まつり」では、東北大学で学ぶ世界各国からの留学生と交流を図った。



【保存会との練習の様子】